

「早産児の母体硫酸マグネシウム投与による新生児骨代謝への影響」へのご協力をお願い

神奈川県立こども医療センター新生児科では、早産（在胎 30 週未満）の患者さんを対象に母体硫酸マグネシウム投与と新生児の骨代謝についての研究を実施しています。この研究は、短期的な影響やメカニズムの解明に役に立つと考えております。

研究課題名	母体硫酸マグネシウム投与による新生児骨代謝への影響
研究の対象	2016 年 10 月から 2021 年 12 月に在胎 30 週未満で出生し、臍帯血を含む血液検査を行ったお子さん
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	切迫早産の治療に用いられる、母体硫酸マグネシウム(商品名：マグセント)は新生児の骨代謝に影響を与える可能性があります。母体に硫酸マグネシウムが投与されると、胎児の血液中のマグネシウムの濃度は上昇する可能性があります。赤ちゃんの入院時の血清マグネシウム値とカルシウムに関連する血液データを振り返って観察します。
研究期間	2022 年 3 月から 2024 年 12 月
研究に使用する試料・情報の種類	・臍帯血：副甲状腺ホルモン（インタクト PTH） ・入院時の血液：マグネシウム、カルシウム、リン、アルカリフォスファターゼ
研究実施機関（研究組織）	神奈川県立こども医療センター新生児科
外部への試料・情報の提供とその方法	本研究では院内のみの使用で、外部に試料・情報の提供はありません。
情報の管理について責任を有する者・所属	神奈川県立こども医療センター新生児科 下風朋章

本研究はヘルシンキ宣言（2013 年 10 月 WMA フォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2021 年 6 月 30 日施行）に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用するため、個人情報外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。

また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。

本研究の対象となる患者さんでご自身やお子さんの情報は利用しないしてほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。研究データからお子さんの情報を削除いたします。その場合も診療において不利益を被ることはございません。

尚、解析開始後あるいは公表後は、情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相

談窓口はこども医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先 研究責任者  
神奈川県立こども医療センター新生児科 下風朋章

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構  
神奈川県立こども医療センター  
総務課 倫理委員会事務局  
Tel : 045-711-2351 内線 2212